

うちの学校



岩屋中学校は、淡路島の北端に位置します。明石海峡に臨む白砂青松の海岸である松帆の浦は、古来より景勝地として「万葉集」をはじめ多くの歌にも詠まれています。

本校では、「礼を尽くし、時を守り、場を清める人間でありたい」をスローガンとして、全校的に挨拶、時間を意識した行動、清掃活動を推進しています。

挨拶は、生徒会を中心に毎日の始業前に校門前に立ち「あいさつ運動」を欠かさず行っています。



そして、最も力を入れているのが清掃活動です。現在の校舎は平成5年に公立学校優良施設表彰事業で文部大臣表彰を受けています。木材をふんだんに使ったあたたかみのある造りになっており、完成当時からデザイン的な評価も高く、美術の教科書に掲載されるほどです。この美しい校舎をいつまでも！と受け継がれてきた活動の一つが床の雑巾がけです。冬の季節には厳しい活動ですが、本校の伝統として、自然に取り組んでいるところが自慢の一つです。約40mの廊下を毎日丁寧に雑巾がけしています。



また、前庭はいつも花が咲きほこり心落ち着かせる素晴らしい学び舎となっております。以前、校舎の設計に関わった方が、学生とともに来校され、「きれいに使っていただいてありがとうございます」との一言をいただきました。地道な活動でも継続的に行うことの大切さを感じました。この伝統が引き継がれていくことで、岩屋中学校の歴史に深みが増すものだと感じています。

ぼわいん 手話 !!

第52回

手話は、ろうあ者が日常生活しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話や、ろうあ者の生活等を紹介いたします。



両手掌を手前に向け、斜めに立てて並べて置き、軽く前へ2回出す。

ろうあ者の日常生活を知ろう②

淡路ふくろうの郷は、洲本市中川原町にある聴覚障害者に配慮した特別養護老人ホームです。兵庫の聴覚障害者と関係団体、仲間の力によって2006年に建設されました。全国的にも数少ない、聴覚障害者に配慮のある施設です。

ろうあ者・難聴者・盲ろう者の方々の、人としての尊厳、情報保障、コミュニケーション保障、人権を大切にしています。また、聞こえる人も入居されており、誰もが安心してゆたかな暮らしを送れるよう取り組んでいます。

協力：淡路聴覚障害者協会 手話サークル津名